

小児 CKD (2023 年度年次調査)
-施設調査 小児 CKD 診療について-

(ご記入日： 2024 年 月 日)

■ 現在診療中の小児保存期 CKD 患者さんについてお尋ねします。2024 年 1 月 1 日時点でご返答ください。

(CKD は 3 か月以上続く状態とし、CKD ステージは血清クレアチニンによる判定表を参照ください。透析中、移植後は含みません。)

18 歳以上 (2024 年 1 月 1 日時点)

	ステージ 3	ステージ 4	ステージ 5
継続診療中の患者さんはいらっしゃいますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
“はい”の方は、人数をご記入ください	人	人	人

18 歳未満 (2024 年 1 月 1 日時点)

	ステージ 3	ステージ 4	ステージ 5
継続診療中の患者さんはいらっしゃいますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
“はい”の方は、人数をご記入ください	人	人	人

※血清クレアチニン (mg/dL) による CKD ステージ判定表

年齢	ステージ 3	ステージ 4	ステージ 5
3~5 か月	0.41~	0.81~	1.61~
6~8 か月	0.45~	0.89~	1.77~
9~11 か月	0.45~	0.89~	1.77~
1 歳	0.47~	0.93~	1.85~
2 歳	0.49~	0.97~	1.93~
3 歳	0.55~	1.09~	2.17~
4 歳	0.61~	1.21~	2.41~
5 歳	0.69~	1.37~	2.73~
6 歳	0.69~	1.37~	2.73~
7 歳	0.75~	1.49~	2.97~
8 歳	0.81~	1.61~	3.21~
9 歳	0.83~	1.65~	3.29~
10 歳	0.83~	1.65~	3.29~
11 歳	0.91~	1.81~	3.61~
12 歳	男 1.07~ 女 1.05~	男 2.13~ 女 2.09~	男 4.25~ 女 4.17~
13 歳	男 1.19~ 女 1.07~	男 2.37~ 女 2.13~	男 4.73~ 女 4.25~
14 歳	男 1.31~ 女 1.17~	男 2.61~ 女 2.33~	男 5.21~ 女 4.65~
15 歳	男 1.37~ 女 1.13~	男 2.73~ 女 2.25~	男 5.45~ 女 4.49~
16 歳	男 1.47~ 女 1.19~	男 2.93~ 女 2.37~	男 5.85~ 女 4.73~

17 歳は 16 歳の基準を準用ください。

18 歳以降は、

$GFR = 194 \times Cr^{-1.094} \times \text{年齢}^{0.287}$ (男性の場合)

あるいは

$GFR = 194 \times Cr^{-1.094} \times \text{年齢}^{0.287} \times 0.739$ (女性の場合)

を用い、

ステージ 3 が eGFR 60 mL/分/1.73m² 未満、

ステージ 4 が 30 mL/分/1.73m² 未満、

ステージ 5 が 15 mL/分/1.73m² 未満としてください。

(あるいは電子カルテでの計算値でも結構です。)

■成長ホルモン（GH）の使用について

男子 17 歳未満女子 15 歳未満で骨端線閉鎖前の保存期 CKD 患者（透析中および移植後を除く）に対する GH 投与に関して、投与開始基準を伺います。

1. 投与に関して一定の基準がありますか？

（ない 施設としてある 施設として定めてはいないが医師個人として基準がある）

2. 1. のご回答が「ある」場合、基準の内容に関して下記にご回答ください。

A. 身長に関する SD 値に関して

身長が -2.0 SD 未満から考慮する 身長が -2.5 SD 未満から考慮する

その他（ ）

B. 腎機能に関して

血清 Cr 値が性別年齢基準値の 1.5 倍または推算糸球体濾過量（eGFR）75mL/分/1.73 m²から考慮する

血清 Cr 値が性別年齢基準値の 2.0 倍または推算糸球体濾過量（eGFR）60mL/分/1.73 m²から考慮する

その他（ ）

C. 投与を回避する状況があればご記載ください（複数選択可）

悪性腫瘍の既往、合併 耐糖能異常 染色体異常やいわゆる症候群

その他（ ）

3. その他補足等有ればご記入ください。

ご回答ありがとうございました